

## ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 外来がん化学療法におけるトレーシングレポート(服薬情報提供書)を用いた専任薬剤師の介入効果』

研究機関名 東邦大学医療センター大橋病院

研究責任者 薬剤部 職位・氏名 薬剤師・大澤勇貴

### 【試料・情報の利用目的】

トレーシングレポート(以下、服薬情報提供書)とは、保険薬局薬剤師が患者様から得た服薬状況や服用期間中の副作用を含む体調変化などの情報を処方医にフィードバックし、残薬調整や処方提案などにつなげていくものです。

当院では、服薬情報提供書の受付を2020年から開始しており、送付されてくる服薬情報提供書には、外来化学療法実施中の患者様が抗がん剤投与後の自宅での過ごし方や服薬コンプライアンス、有害事象・副作用出現状況などが記載されています。その内容を外来化学療法専任薬剤師(以下、専任薬剤師)が確認し、電子カルテのスキヤナ機能を用いて保存することで医師と情報共有しております。また、専任薬剤師は外来化学療法実施中の患者様に対して来院時に面談を行っており、服薬情報提供書を参考に面談することで、服薬指導や症状緩和に対する処方介入を行い、有害事象・副作用などを軽減し、外来化学療法を継続するよう努めています。

今回対象となる患者様は2022年1月～2023年8月までに東邦大学医療センター大橋病院において、外来化学療法を受け、保険薬局より服薬情報提供書が送付された方(400症例)を対象とします。

取得した試料・情報は服薬情報提供書の有効性を確かめることを目的とした研究に利用します。この研究で得られる成果は、患者の有害事象・副作用などを軽減し、外来がん化学療法を継続につながります。

### 【他機関への提供】

他機関への提供は行いません。

### 【研究に用いられる試料・情報】

情報: 病歴、診療の治療歴、副作用等の発生状況、個人情報、服薬情報提供書内容

研究に利用する情報は、患者さんのお名前、住所など、個人を特定できる情報は削除して管理します。また、今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できる情報を報告・公開することはありません。

### 【試料・情報の利用または提供を開始する予定日】

2024年1月19日より利用を開始します。

### 【試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名】

他施設への提供はないため、該当せず。

**【試料・情報の取得方法】**

対象者:2022年1月～2023年8月までに東邦大学医療センター大橋病院において、外来化学療法を受けた方(延べ5000人程度)。また、同期間内に保険薬局より服薬情報提供書が送付された方(400症例程度)を対象とします。

方法:服薬情報提供書・診療録(カルテ)から抽出したデータを解析します。

**【研究組織】**

代表施設名:東邦大学医療センター大橋病院 研究代表者:大澤勇貴 役職:薬剤師

**【利用する者の範囲】**

該当せず。

**【試料・情報の管理について責任を有する者の名称】**

東邦大学医療センター大橋病院

本研究に関してご質問のある方、試料や情報を研究に利用することを承諾されない方は2026年12月31日までに下記へご連絡下さい。また、2親等以内の家族、法定代理人からの申し出にも対応いたします。申し出のあった方の試料・情報は、利用や他の研究機関への提供を行いません。その場合でも、患者様に不利益になることはありません。

**【連絡先および担当者】**

東邦大学医療センター大橋病院 薬剤部

職位・氏名 薬剤師・大澤勇貴

電話 03-3468-1251 内線 7053